

令和5年度第2回江別市地域公共交通活性化協議会開催結果（要旨）

日 時：令和5年11月14日（火） 14時00分～14時35分

場 所：江別市民会館3階37号室

出席者：白崎敬浩会長、高野伸栄副会長、和田則幸委員、佐藤元委員、中野幹也委員、内藤幸樹委員、山下光弘委員、小松憲幸委員（代理）、高谷政伸委員、佐藤誠一委員、名古屋由紀子委員、佐藤貴史委員、猪島秋彦委員、亀田教子委員、下山田峻委員（代理）、岩佐英世委員

※今武委員、鈴木康治委員、熊谷吉伸委員、津田直輝委員、遠藤雄一委員、杉浦一秀委員は都合により欠席

傍聴者：1名

会議概要

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 挨拶

○企画政策部長

皆様には、当協議会の委員を快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。また、本日はご多忙の中、お越しいたごき重ねてお礼を申し上げます。

地域公共交通は、地域住民の通勤・通学・通院などの移動手段として、欠かすことのできないものであり、現在の鉄道やバス路線、タクシーの台数などを維持し、さらに、利用者の利便を高めていくことは大変重要なこととあります。

当協議会としても、今年6月に江別市地域公共交通計画を策定しており、関連する各種施策の推進に向けて、今後、皆様のお力もお借りしながら研究・検討して参りたいと考えております。

さて、2020年からのコロナ禍の影響で、生活スタイルが大きく変化したこともあり、公共交通は従前の利用者数に回復しない状況に加え、昨今の報道でもあるように、いわゆる2024年問題に起因する運転手不足が大きな問題となっており、全国的にバス路線の減便・廃線などが、相次いで報道されております。

また、この間の少子高齢化の進展に伴い、公共交通のニーズも大きく変化をしてきております。

公共交通につきましては、現状を維持するのが極めて大変な課題となっており、どの自治体においても有効な解決策を模索している現状であると認識しております。

この協議会では、公共交通事業者、道路管理者、公安、学識経験者、そして、実際に

利用される皆様など、様々な分野からお集まりいただいております。公共交通を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くものと思われませんが、各委員におかれましては、それぞれの立場から忌憚のないご意見をいただき、江別市における持続可能で、より良い地域公共交通の実現に向けて、お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 会長及び副会長の選出について

(互選により会長に白崎委員、副会長に高野委員が選出される)

5 専門委員会の設置及び専門委員の指名について

委員長の選出及び委員長代理の指名について

(専門委員会の設置が承認される)

(会長より専門委員11名が指名され承認される)

(互選により委員長に高野副会長が選出される)

(委員長により委員長代理に佐藤誠一委員が指名され承認される)

6 監査委員の指名について

(会長より名古屋委員と佐藤貴史委員が指名され承認される)

7 報告事項

(1) 江別市地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について

○事務局(説明)

資料1をご覧ください。この資料は、北海道運輸局長から本協議会宛への通知文書の写しとなる。内容については、本年6月に当協議会において承認をいただき、国へ申請していた令和6年度の江別市のフィーダー計画に関して、国の補助事業を活用する計画として認定された旨の通知となる。

この通知により、計画に位置づけをしている北海道中央バス株式会社様の「野幌見晴台線」については、令和6年度においても国の補助金を申請することができることとなる。

【質疑等】

○白崎会長

ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はないか。

(質疑なし)

(2) デマンド型交通運行事業（委託料の改定）について

○事務局（説明）

資料2をご覧ください。6月に開催した第1回協議会でも経過を報告していたが、本年5月31日から江別市内を含む札幌交通圏のタクシー運賃が値上げとなっており、距離加算の区間単位が従前より短くなる変更がされている。

そのため、タクシー運賃を参考にして積算している本市2地区のデマンド事業についても、地元の事業主体及び運行事業者とも協議のうえ、10月1日から委託料を改定している。新旧対照表のとおり、江北地区については、運行事業者への委託料が2,800円から3,200円の400円増となっており、豊幌地区については、4,500円から5,100円の600円増となっている。

【質疑等】

○白崎会長

ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はないか。

（質疑なし）

8 協議事項

(1) 「野幌駅北口～ボールパーク間」の実証運行について

○事務局（説明）

資料3をご覧ください。まず、経緯ですが、野幌駅北口と北広島市内のボールパークを結ぶバス路線については、当協議会の承認を得たうえで、令和5年3月30日から道路運送法第21条に基づく実証運行を実施しているが、この度、運送事業者から、実証運行の継続について提案があったことから、当該協議会において審議するものです。

次に、事業概要（案）ですが、現行の内容と基本的には、ほぼ変更はないが、改めて説明させていただきます。

まず、運行事業者は、株式会社エルム観光バス、運行区間は「野幌駅北口ロータリー」から「ボールパークシャトルバス乗降場」までで、途中乗降なしのシャトル運行、運行距離は14.512km、運行車両はハイデッカーを使用、運賃は大人500円、小児250円、幼児については大人小児1名同伴につき無料、身体障がい者250円、運行開始日は令和6年3月30日から1年間、運送対象者はボールパークでの野球観戦者など、運行台数は3台、運行日は試合開催日のほか、オープン戦やファン感謝イベント等の開催に応じて臨時便の運行、周知についてはイベント等の案内に合わせてホームページ等で周知、運行本数は平日「野幌駅北口発」7本、「BP発」7本、土日祝日「野幌駅北口発」7本、「BP発」8本で、利用状況に応じて臨時便を検討、周知についてはホームページ、バス停時刻表、案内人の配置など、運賃収受は現金、交通系ICカード、VISAタッチ決済で、乗降場にスタッフを配置して徴収、運行形式は道路運送法第21条に基づく実証運

行を継続することとし、今後、4条申請を行う予定となる。

スケジュール（案）については、11月中旬（本日）の活性化協議会での承認を得て、来年1月上旬には事業申請、3月上旬に事業認可を得て、同下旬には実証運行を開始するスケジュール案となっている。

資料の2ページ目に運行路線図、3ページ目にその拡大版、4ページ目に乗降場所の詳細図、5ページ目に2023年度のダイヤと試合日程、最後のページに参考として、今シーズンの運行実績をまとめた表を添付しているので参照願う。

また、当日配布した追加資料が2024年度のダイヤと試合日程となり、もう一枚の資料が、11月23日の祝日に開催されるファン感謝イベントで運行される臨時便のダイヤとなるので確認願う。

なお、来年3月のオープン戦に合わせて臨時便の運行を予定しているが、日程及び臨時便のダイヤについては決まりしだい、バス事業者3社にはお知らせしたい。

○株式会社エルム観光バス（説明）

今年の運行は、残り11/23のファン感謝デーのみとなるが、予想より多くのご利用をいただき、交通事業者様や市民の皆様のご協力で2023年シーズンを終えることができた。

2024年も継続して21条申請での運行を目指したいと思っている。引き続き、皆様にご協力をいただきながら、運行に努めていきたいと考えており、ファイターズさんの発表をもとに色々と告知等を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたい。

【質疑等】

○白崎会長

ただいまの説明について、ご質問・ご意見等はないか。

○亀田委員

所要時間はどのくらいか。

○株式会社エルム観光バス

道路の混雑状況にもよるが、野幌駅から25分程度の所要時間となる。一番遅かった時で40分程度かかったこともあった。

○猪島委員

今シーズンの実績で、1日平均805名の利用とあるが、これはバス1台当たり何名乗りでどれぐらいの乗車効率だったのか。

○株式会社エルム観光バス

往復で1日当たり805名の利用となり、「行き・帰り」で人数も異なるが、片道400名程度で運行していた。当初は1台50名程度で運行していたが、お客様の協力も得ながら、補助席も使って最大60名で運行していた。

また、計画では7本となっているが、実際には増便により8～9本の運行となった。

○白崎会長

その他に何かあるか。

(なし)

他にご質問・ご意見等なければ質疑を終結する。ただいまの協議事項について承認いただけることでよろしいか。

(異議なし)

ありがとうございます。来年度、2年目となりますが、引き続きお願いしたい。

9 その他

○白崎会長

各委員から何かあれば発言願う。今回の議案に直接関連ないことや、質問し忘れたことでも結構です。

○亀田委員

「フィーダー」の意味について教えていただきたい。

○事務局

簡単に言うと主要幹線につながる「枝」路線という意味である。地域間を結ぶ主要な路線につながる一地域内（江別市内）だけで運行する枝路線のこととなる。国で補助金の名称として使っている言葉となる。

○白崎会長

その他に何かあるか。

(なし)

事務局から何かあるか。

○事務局

2月の協議会でも経過を報告しているが、夕鉄バス様の夕張線・栗山線について、利用者の減少や乗務員不足などにより運行の維持が困難となり、9月末をもって廃止となっている。10月以降については、廃止による影響を抑えるために、南幌線を増便するとともに、ゆめみ野方面への分岐路線を設けている。

これに伴い、本日机上配布した江別市内のバス路線マップも修正しているので、後ほどご確認願う。

次に、次回の協議会について、急な案件等がなければ、6月に開催を予定している。確定しだい、改めて委員の皆様にご案内する。

10 閉会